



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月14日

上場会社名 シライ電子工業株式会社  
コード番号 6658 URL <http://www.shiraidenshi.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小島 甚昭  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理担当 (氏名) 亀井 正巳  
四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日

上場取引所 東

TEL 075-861-8100

配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	13,851	11.2	200	10.1	136		76	
29年3月期第2四半期	12,460	17.3	181	56.8	29		50	

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 122百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 311百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	5.47	
29年3月期第2四半期	3.61	

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、29年3月期第2四半期は1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため、30年3月期第2四半期は潜在株式が存在しないため記載していません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	20,818	3,569	16.6	246.65
29年3月期	20,217	3,516	16.9	243.79

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 3,446百万円 29年3月期 3,406百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	7.0	700	3.6	520	3.0	340	11.5	24.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	13,976,000 株	29年3月期	13,976,000 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	1,382 株	29年3月期	1,382 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	13,974,618 株	29年3月期2Q	13,974,618 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成29年11月29日に機関投資家・証券アナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する四半期決算説明資料については、説明会開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米を中心に緩やかな拡大基調が続き、中国においても政府による経済対策の効果もあり持ち直しの動きが見られました。しかし一方では、米国の政治状況の混乱による政策期待の後退や北朝鮮問題などの地政学リスクの高まりなどが懸念され、世界的な景気下振れリスクには十分な注意が必要な状況であります。

わが国経済におきましては、内需や個人消費は力強さに欠けるものの、企業収益や雇用情勢は改善し、緩やかな景気拡大基調が続いております。

プリント配線板業界におきましては、将来の技術革新を背景にカーエレクトロニクス関連を中心に世界市場全体は拡大傾向にあります。国内市場は企業の海外生産シフトの影響等により大幅な市場の拡大を望むことができず、限られた市場の中で競合メーカー同士の激しい競争が続いております。

このような状況のなか当社グループは、プリント配線板事業におきましては、販売活動ではカーエレクトロニクス関連、ホームアプライアンス関連の受注が好調に推移し、特に海外で売上を伸ばしました。生産活動では国内外で他社が追従できないものづくりを目指した製造力強化活動を展開し、「品質で、社会に貢献する」を経営方針に掲げ、更なる品質力の向上に取り組みました。また、透明基板のコア技術を中心とした新基板の開発や、独自開発した基板の販売促進活動にも継続して取り組みました。

検査機・ソリューション事業につきましては、プリント配線板外観検査機（VISPERシリーズ）は中国をはじめとした海外市場を中心に販売活動を行いました。海外メーカー等との競争激化により販売数が伸び悩みました。また各種ソリューションビジネス商品は取り扱いラインナップを更に充実して、国内市場を中心に販売数を伸ばしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は13,851百万円となり、前年同期比では1,390百万円（11.2%）の増収となりました。

営業損益につきましては、原材料価格の高騰による製造原価の上昇や製品仕入高の増加等はあったものの売上高が増収となった結果、前年同期比では18百万円（10.1%）増益となる200百万円の営業利益となりました。

経常損益につきましては、営業利益が増益となったことや持分法による投資利益が増加したこと、また為替相場へのリスクヘッジ等により為替差損の額が減少した結果、前年同期比では165百万円増益となる136百万円の経常利益となり、黒字転換いたしました。

親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、経常利益が増益となった結果、前年同期比では126百万円増益となる76百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益となり、黒字転換いたしました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、セグメントの売上高にはセグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

#### (プリント配線板事業)

プリント配線板事業につきましては、カーエレクトロニクス関連、ホームアプライアンス関連の受注が好調に推移し、特に海外での売上が伸びた結果、売上高は13,341百万円となり、前年同期比では1,391百万円（11.6%）の増収となりました。

損益面につきましては、原材料価格の上昇や製品仕入高の増加等はあったものの、売上高が増収となった結果、154百万円の営業利益となり、前年同期比では12百万円（8.5%）の増益となりました。

#### (検査機・ソリューション事業)

検査機・ソリューション事業につきましては、各種ソリューションビジネス商品は国内を中心に販売数を伸ばしたものの、プリント配線板外観検査機（VISPERシリーズ）は海外での競争激化の影響で販売数が伸び悩んだ結果、売上高は485百万円となり、前年同期比では36百万円（△7.0%）の減収となりました。

損益面につきましては、売上高が減収となった結果、45百万円の営業利益となり、前年同期比では11百万円（△20.9%）の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、20,818百万円（前連結会計年度末比601百万円増）となりました。その内訳は、流動資産が11,726百万円（前連結会計年度末比332百万円増）、固定資産が9,092百万円（前連結会計年度末比268百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動資産につきましては、現金及び預金は54百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が342百万円、原材料及び貯蔵品が63百万円増加したことによるものであります。固定資産につきましては、有形固定資産が118百万円、無形固定資産が42百万円、投資その他の資産が107百万円それぞれ増加したことによるものであります。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、17,249百万円（前連結会計年度末比548百万円増）となりました。その内訳は、流動負債が12,455百万円（前連結会計年度末比163百万円増）、固定負債が4,793百万円（前連結会計年度末比384百万円増）であり、主な増減要因は次のとおりであります。

流動負債につきましては、短期借入金は431百万円減少しましたが、1年内返済予定の長期借入金が253百万円、その他が344百万円増加したことによるものであります。固定負債につきましては、長期借入金が393百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、3,569百万円（前連結会計年度末比52百万円増）となりました。主な増減要因は、その他有価証券評価差額金が31百万円、非支配株主持分が13百万円増加したことによるものであります。

## (キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は2,229百万円となり、前年同期比では697百万円減少いたしました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは322百万円の獲得となり、前年同期比では271百万円の獲得増加となりました。

その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間は、仕入債務の増減額が323百万円減少し資金流出が増加となりましたが、法人税等の支払額が287百万円減少し資金流出が減少したことや、売上債権の増減額が280百万円減少したことにより資金獲得が増加したことによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは403百万円の流出となり、前年同期比では96百万円の流出増加となりました。

その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間では、有形固定資産の取得による支出が91百万円増加したことによるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは114百万円の獲得となり、前年同期比では11百万円の獲得減少となりました。

その主な増減要因は、当第2四半期連結累計期間では、長期借入れによる収入が29百万円増加となりましたが、リース債務の返済による支出が19百万円増加したことや、短期借入金の純増減額が17百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表いたしました連結業績予想につきましては、特に変更はありません。今後万一、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,673	2,619
受取手形及び売掛金	5,712	6,055
電子記録債権	249	262
製品	1,488	1,424
仕掛品	488	492
原材料及び貯蔵品	318	381
繰延税金資産	133	118
その他	329	374
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	11,393	11,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,143	2,965
機械装置及び運搬具（純額）	1,742	1,729
その他（純額）	2,441	2,751
有形固定資産合計	7,328	7,446
無形固定資産		
投資その他の資産	271	314
固定資産合計	8,823	9,092
資産合計	20,217	20,818

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,042	4,045
電子記録債務	944	959
短期借入金	4,038	3,607
1年内返済予定の長期借入金	1,782	2,035
未払法人税等	68	53
賞与引当金	276	270
その他	1,138	1,483
流動負債合計	12,292	12,455
固定負債		
長期借入金	3,141	3,535
繰延税金負債	1	1
退職給付に係る負債	635	619
資産除去債務	143	144
その他	486	491
固定負債合計	4,408	4,793
負債合計	16,700	17,249
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	1,506	1,506
利益剰余金	1,369	1,376
自己株式	△0	△0
株主資本合計	4,238	4,244
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40	72
為替換算調整勘定	△827	△829
退職給付に係る調整累計額	△44	△40
その他の包括利益累計額合計	△831	△797
非支配株主持分	109	122
純資産合計	3,516	3,569
負債純資産合計	20,217	20,818

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	12,460	13,851
売上原価	10,468	11,738
売上総利益	1,992	2,113
販売費及び一般管理費	1,810	1,912
営業利益	181	200
営業外収益		
受取利息	5	3
受取配当金	1	1
持分法による投資利益	28	69
その他	11	12
営業外収益合計	47	86
営業外費用		
支払利息	97	104
為替差損	153	36
その他	8	10
営業外費用合計	259	150
経常利益又は経常損失(△)	△29	136
特別損失		
固定資産廃棄損	4	30
特別損失合計	4	30
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△33	105
法人税、住民税及び事業税	68	53
法人税等調整額	△49	△37
法人税等合計	18	16
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△52	89
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△50	76
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	12
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	31
為替換算調整勘定	△244	19
退職給付に係る調整額	5	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△22	△21
その他の包括利益合計	△258	33
四半期包括利益	△311	122
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△307	109
非支配株主に係る四半期包括利益	△3	13

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△33	105
減価償却費	401	444
賞与引当金の増減額(△は減少)	14	△4
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△4	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△0
受取利息及び受取配当金	△6	△5
支払利息	97	104
為替差損益(△は益)	152	166
固定資産廃棄損	4	30
持分法による投資損益(△は益)	△28	△69
売上債権の増減額(△は増加)	△809	△529
たな卸資産の増減額(△は増加)	70	△41
仕入債務の増減額(△は減少)	502	179
未払消費税等の増減額(△は減少)	△19	△44
その他	155	157
小計	495	482
利息及び配当金の受取額	6	5
利息の支払額	△97	△103
法人税等の支払額	△357	△70
法人税等の還付額	2	8
営業活動によるキャッシュ・フロー	50	322
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△294	△385
有形固定資産の売却による収入	1	0
無形固定資産の取得による支出	△12	△13
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
その他	1	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△307	△403
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△317	△335
長期借入れによる収入	1,524	1,554
長期借入金の返済による支出	△925	△940
リース債務の返済による支出	△75	△95
配当金の支払額	△69	△68
非支配株主への配当金の支払額	△10	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	126	114
現金及び現金同等物に係る換算差額	△443	△87
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△573	△54
現金及び現金同等物の期首残高	3,500	2,283
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,927	2,229

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	プリント 配線板事業	検査機・ソリ ューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,950	468	12,419	41	12,460	—	12,460
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	52	52	114	167	△167	—
計	11,950	521	12,471	156	12,628	△167	12,460
セグメント利益	141	57	199	3	202	△20	181

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業及び人材派遣を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△20百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	プリント 配線板事業	検査機・ソリ ューション事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	13,341	468	13,810	40	13,851	—	13,851
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	16	16	103	119	△119	—
計	13,341	485	13,826	144	13,971	△119	13,851
セグメント利益 又は損失(△)	154	45	199	△3	196	3	200

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額3百万円には、セグメント間取引消去が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。